

8. 目黒川の将来ビジョン

本計画に位置付けた対策と悪臭軽減効果の達成率について、図 38 に示す。

継続事業は今後も続け、新規に高濃度酸素溶解水供給等の対策を実施することにより、短期目標・中期目標・長期目標の達成を目指し、次のビジョンの実現を図る。今後、この将来ビジョンを実現するためには、流域自治体や近隣住民、その他関係機関が協働して水質浄化対策を継続的に推進していく。

短期ビジョン

悪臭が軽減された目黒川

概ね 5 年後の稼働を目指して、ア. 高濃度酸素溶解水供給施設の整備を行う。

また、イ. 初期越流水貯留施設の整備及び部分分流化の推進を実施する。

ウ. 効果的な浚渫の実施については、検討に必要なデータを収集するためのモニタリングを定期的に行う。

以上の対策を実施することにより、概ね 5 年後に短期目標である大気中の硫化水素濃度 0.2ppm 以下を 50%達成し、「悪臭が軽減された目黒川」の実現を図る。

中期ビジョン

悪臭・白濁化・スカムが大幅に軽減された目黒川

概ね 10 年以内にイ. 初期越流水貯留施設の整備（機能拡大）を目指す。また、短期対策に引き続き部分分流化の推進を実施する。

ウ. 効果的な浚渫の実施については、短期（概ね 5 年以内）のモニタリング結果を踏まえて、実施箇所や手法等の検討を行い実施する。

以上の対策を実施することにより、概ね 10 年後に中期目標である大気中の硫化水素濃度 0.2ppm 以下を 100%達成し、「悪臭・白濁化・スカムが大幅に軽減された目黒川」の実現を図る。

長期ビジョン

川辺で憩える親しみのある目黒川

概ね 10 年後までに継続して実施するモニタリング調査結果をもとに、これまでの対策について評価、計画を再検討し、実施することにより、長期目標である「川辺で憩える親しみのある目黒川」の実現を図る。

目黒川の将来ビジョン

川辺で憩える親しみのある目黒川

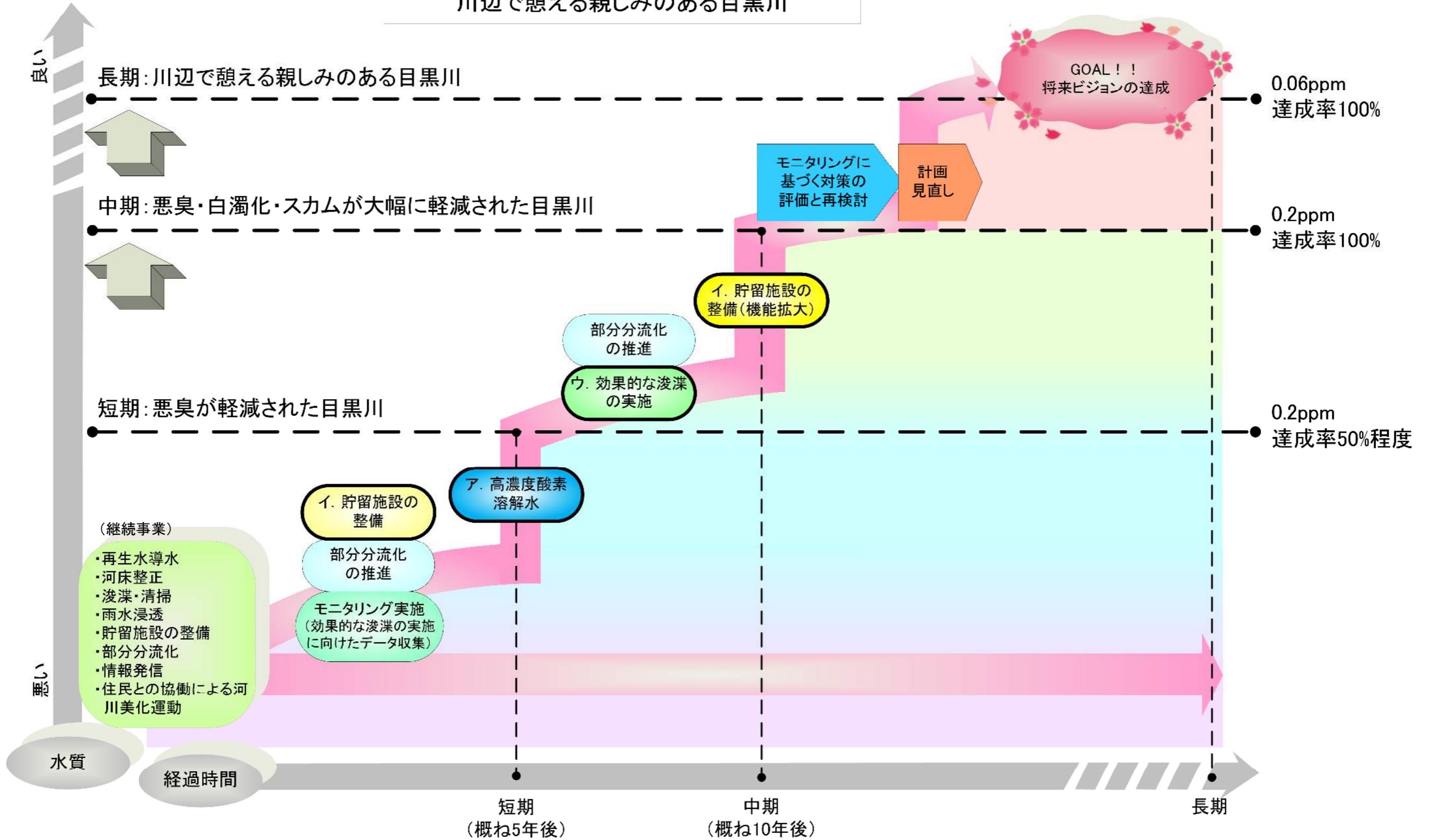


図 38 目黒川の将来ビジョン